

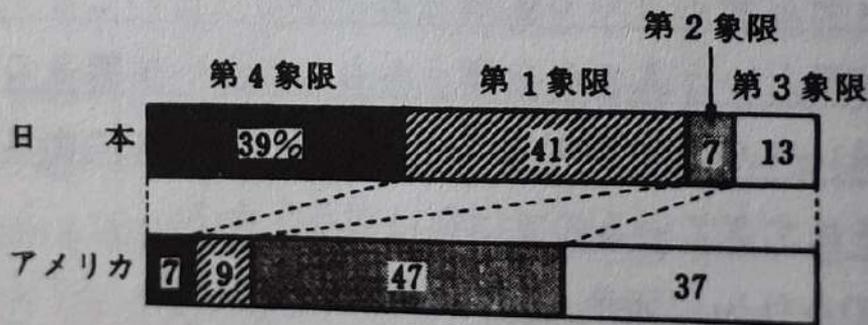
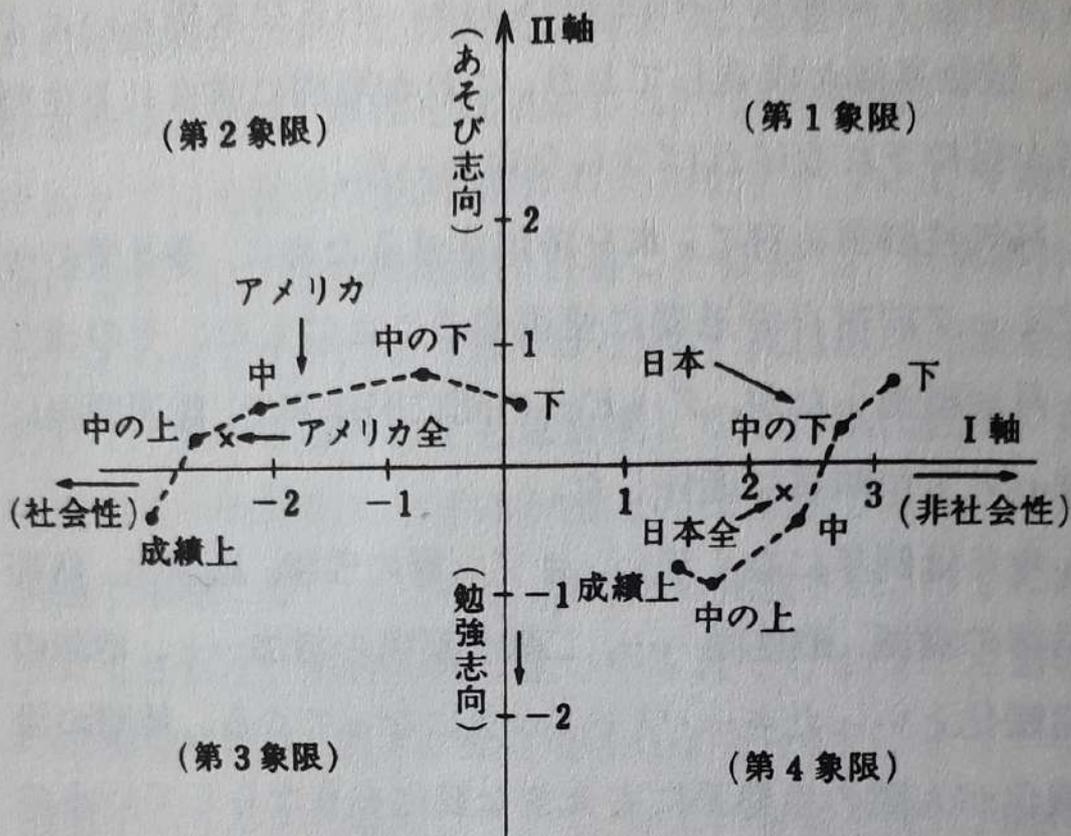
〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問題に答えて下さい。

日本青少年研究所が日米高校生を対象にアンケート調査をして、高校生の様態を示した次のようなデータがある。

図は、質問全体の中から、高校生の生活と価値観をの特色を出すのにふさわしいと思われる項目を選び出し、多変量解析を行って、一つの平面上に共通の軸を求め全体の傾向を調べたものである。相互に独立なⅠ軸(社会性-非社会性)とⅡ軸(勉強志向-遊び志向)を交叉させることによって、日米高校生の四つのタイプと学業成績の分布を導き出すことができる。さらに、日米高校生のタイプ別の構成割合について、対比できるように棒グラフが示されている。

(IDE-現代の高等教育1980、武内清/小林雅之より)

図, 日米高校生の四つのタイプ



問1: 図中の第1象限の高校生のタイプを「無気力型」を称するとすれば, 第2, 3, 4象限の高校生のタイプはそれぞれどの様に称するのが適当と考えますか。

問2: 図に基づいて, 日米高校生を比較し, 日本の高校生の特徴を要約しなさい。また, あなたは, この図のどの象限に属すると思いますか。大学に入りたいこと, 大学生活に対する期待などについて述べて下さい。(600字以内)

➡ 簡単な図表資料を読み取らせ、自己自身を特徴づけ相対視した上で大学生生活の抱負を述べさせる問題。大学生としての自覚と決意を試すものと言えよう。

問1は、三つのタイプをそれぞれ具体的にイメージしながら名付ければよいので難しくはない。問2は、①日本の高校生の特徴、②自己の規定、③入学後の抱負、の3点をバランスよく、相互に関連させてまとめる必要がある。②でどの象限を選ぶかによって③も変わってくるであろうから、③に十分な現実性と説得力を持たせるためにも、②では正直に、確かな根拠をもって答えることが大切だろう。